

2026年2月10日発行

東海生研 ～メールマガジン～ 第254号

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2025年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の本年度のイベントである、4回のセミナーと「アグリビジネス創出フェア in 東海」は終了しましたが、個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。当研究会の事務所、あるいは、相談者の事務所を訪問してご相談対応をさせていただいておりますので、ご連絡下さい。

(連絡先)

事務局長 岩佐 E-mail:npo-tokai*ab.auone-net.jp (*を@に書き換えてください)
電話：052-789-4586

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆「知の拠点あいち重点研究プロジェクトV期」公開セミナーの参加者を募集します。

愛知県及び公益財団法人科学技術交流財団では、大学等の研究シーズを活用したオープンイノベーションにより、県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発-実用化や新たなサービスの提供を目指す産学行政連携の研究開発プロジェクト「知の拠点あいち重点研究プロジェクトV期」を2025年6月から実施しています。この度、海外の大学-研究機関との連携により研究を推進する国際枠に採択され、今年度の予備研究を経て本格研究を目指す10テーマについて、これまでの研究成果を広く県民や産業界の方に知っていただくため「知の拠点あいち重点研究プロジェクトV期」公開セミナーを開催します。

本セミナーでは研究発表に加え、ポスターセッションで研究者との意見交換の場も設けます。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

○セミナー開催日時 2026年2月16日(月)午後1時から午後5時40分まで

(受付開始：午後0時30分)

○開催形式(会場及びオンライン(Zoom))会場：「知の拠点あいち」あいち産業科学技術総合センター1階 講習会室 豊田市八草町秋合 1267-1 電話：0561-76-8356

オンライン：申込完了後に配信用のURLを送付いたします。

○プログラム「スペシャリティ酵素を用いた本格的腸活・機能性ノン・ローアルコールビール製造への挑戦」始め10テーマ

詳細は

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kagaku/aichi-jyupuro5-kokai-seminar.html>

をご参照ください。

○参加費：無料

○定員 会場参加：100名(申込先着順) オンライン参加：定員なし

○申込 Web ページ <https://www.wixforms.com/f/7416707100140635136>

○申込期限：2026年2月10日(火)ただし、会場参加は定員に達し次第、締め切ります。

○問合せ先：公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部管理課
電話：0561-76-8356、8357

メール：juten@astf.or.jp ※原則、メールにてお問合せ下さい

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等 (オンライン開催があるもの)

☆《「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」の令和8年度公募開始のお知らせ》
生研支援センターでは、2月6日（金曜日）から「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」令和8年度の公募を開始しました。

本事業は、産学官が連携して取り組む、将来の農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な研究シーズを創出する基礎研究や、基礎研究等の成果を社会実装するための実用化段階の研究開発を支援します。

■公募期間：2026年2月6日（金曜日）～3月10日（火曜日）正午まで

■公募説明会：2026年2月13日（金曜日）にオンラインで開催

▼公募要領等の詳細情報は、下記URLをご参照ください。（生研支援センターウェブサイト）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/open-innovation/offering/koubo/2026.html>

【お問い合わせ先】

生物系特定産業技術研究支援センター（生研支援センター）

事業推進部 イノベーション創出課（担当：渡邊、大西）

E-mail: inobe-web@ml.affrc.go.jp

☆《「スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）」令和8年度公募開始のお知らせ》

生研支援センターでは、2月6日（金曜日）から「スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）」令和8年度の公募を開始しました。

本プログラムでは、農林水産・食品分野における政策的・社会的な課題の解決や新たなビジネス創出に向け、研究開発型スタートアップ等の革新的な研究開発及び事業化の取り組みを支援します。

■公募期間：2026年2月6日（金曜日）～3月6日（金曜日）正午まで

（連結型研究課題：2026年2月6日（金曜日）～3月23日（月曜日）正午まで）

■公募説明会：2026年2月12日（木曜日）にオンラインで開催

▼公募要領等の詳細情報は、下記URLをご参照ください。（生研支援センターウェブサイト）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/startup/offering/koubo/R08.html>

【お問い合わせ先】

生物系特定産業技術研究支援センター（生研支援センター）

事業推進部 スタートアップ支援課（担当：五十嵐、徳山、江川）

E-mail: brain-stupweb@ml.affrc.go.jp

☆2025年度近畿アグリハイテク公開講演会

《講演》

農作物の状態や作業内容に合わせてカスタマイズできる装置や機械、無いなら自作してしまおう。それも低コストで！～課題解決から生まれる農家発イノベーション～

第1部

1. 生育環境と植物の個性をうまく調和させ、安価に手に入れられる機械を自作し、作業を省力化

稲清農園・副代表 稲山 純生さん（大阪府柏原市）

2. 観測データに基づき自作でハウス内の環境制御を自動化、目指す経営に向けてバージョンアップ

あゆみ農園・代表 西 歩さん（和歌山県岩出市）

3. 現場の課題を創意工夫で解決！

安価、安全、コンパクトな「選果ロボット」を開発、製品化し、農家の高齢化・人手不足に貢献

専業農家（株式会社イモテック代表取締役） 塩川 武彦さん（埼玉県川越市）

第2部

参加者交流会（技術に関する質問、現場課題やアイデアなどの情報交換）

日時：2026年2月20日（金）13：00～16：20

場所：キャンパスプラザ京都 4階第2講義室

主催：NPO法人近畿アグリハイテク

☆大豆多収研究発表会

-導入事例で納得!大豆安定多収を実現する農研機構開発の多収新品種と新技術-

農研機構は、大豆の安定多収を実現する多収新品種「そらみのり」と高能率と排水性を両立する新播種技術「ディスク式高速一工程播種」を開発し、普及に取り組んでいます。また、乾湿害リスクを予測する土壌水分状態の予測システムの開発を進めています。

発表会では、これら新品種、新技術の概要に加え、生産者による導入事例や導入による経営改善効果について紹介します。

生産者、企業、大学、研究機関、行政の方々など、大豆の多収安定生産に興味関心のある方の参加をお待ちしています。

日時：2026年2月25日（水）13:00～16:40（開場 12:30）

場所：レソラホール（福岡県福岡市中央区天神2丁目5-55 5階）

主催：農研機構 九州沖縄農業研究センター 農林水産省 九州農政局

全国農業改良普及支援協会

定員：会場 150名、オンライン 500名（要参加登録）

▽詳細はこちら▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/173842.html

.....

4. 2025年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和8年度採択「農業」領域 共同研究課題募集」

☆JST：「2025（令和7）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

■民間等

☆一般財団法人キーコーヒー柴田裕記念財団：「2026年度研究助成」

☆公益財団法人三島海雲記念財団：「2026年度学術研究奨励金（自然科学部門）」

2025年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1)新技術情報

☆農産関係

農業経営計画策定支援システムの開発とスマート農業経営指標の公開

-スマート農業の導入効果を見える化-

農研機構は、水田作におけるスマート農業導入効果を可視化するための「農業経営計画策定支援システム」を開発し、その一部を公開しました。このシステムは、スマート農業実証プロジェクトで得られたデータをもとに構築した農業経営指標と、それを活用してシミュレーションを行うWebアプリで構成されています。

スマート農業を導入した効果を簡易にシミュレーションすることができます。

▽詳細はこちら▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/172799.html

☆園芸関係

「NARO 生育・収量予測ツール(2)イチゴ」の対応品種を 10 品種に拡大で品種特性に応じた生産性向上を実現

農研機構は、イチゴの収量を品種ごとに予測する API 「NARO 生育・収量予測ツール(2)イチゴ」で利用できる品種を拡大し、

- ・種子繁殖型品種「よつぼし」、「ベリーポップ はるひ」、
 - ・四季成り性品種「夏のしずく」、
 - ・一季成り性品種「恋みのり」、「いばらキッス」、「越後姫」、「かおり野」、「紅ほっぺ」
- など 10 品種で利用できるようになりました。

これにより、品種ごとの特性に応じた収量予測と栽培改善が実現できるようになりました。
▽詳細はこちら▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/172753.html

.....

編集後記

暦の上では二十四節季の立春を過ぎ日差しが暖かく感じられるようになりましたが、まだまだ朝晩の寒さが続いています。体調の管理には十分お気を付けてください。

さて、当研究会では皆様からの産学連携、事業化等の様々なご相談、ご要望に真摯に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>